



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 自重堂

コード番号 3597 URL <http://www.iichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務本部本部長

(氏名) 谷口 郁志

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	8,098	△2.0	1,432	13.7	2,591	185.9	1,895	266.7
28年6月期第2四半期	8,265	△1.4	1,259	42.0	906	△62.9	516	△68.8

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 2,349百万円 (642.6%) 28年6月期第2四半期 316百万円 (△81.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	130.31	—
28年6月期第2四半期	34.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第2四半期	33,728	28,898	85.7	1,987.42
28年6月期	33,435	27,280	81.6	1,875.65

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 28,898百万円 28年6月期 27,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△0.6	2,500	△4.2	2,500	149.1	1,700	193.7	116.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期2Q	16,153,506 株	28年6月期	17,653,506 株
29年6月期2Q	1,612,720 株	28年6月期	3,109,093 株
29年6月期2Q	14,543,390 株	28年6月期2Q	15,133,829 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期決算レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済・金融政策等を背景に、企業収益や雇用環境は緩やかな回復基調にあるものの、米国の新政権移行、英国のEU離脱問題、中国をはじめとする新興国の成長鈍化などにより、先行きは依然として不透明な状況が続きました。特に、個人や中小企業においては景気回復の実感は乏しく、先行きの不安から節約志向・低価格志向が継続し、アパレル業界、ワーキングウェア業界においてはデフレ状況が続いています。

このような状況のもと当社グループにおきましては、商品開発を強化し、積極的に新商品を市場に投入することで需要を喚起し、売上・利益の拡大に努めてまいりました。特に世界戦略ブランド「Z-DRAGON（ジードラゴン）」においては、ワーキングウェアのみならず安全靴においても価格訴求力のある新商品を展開し、シェア拡大を図ってまいりました。主要ブランド「JICHODO（ジチョウドウ）」では、「働く人を応援する」をキーワードに、機能性とデザイン性を兼ね備えた商品を展開してまいりました。更に、次世代戦略ブランド「Jawin（ジャウイン）」においても、ワーキングウェアのカジュアル化に対応した新商品を投入してまいりました。商品の細部にまでこだわって、お客様のニーズを的確にとらえた「売れる商品」の開発に取り組むとともに、新商品販促キャンペーンなど広告宣伝活動を積極的に行い、自社ブランドの育成及び認知度の向上を図ってまいりました。また、新たな主力事業として育成・強化している、フットウェア分野と、医療用白衣・介護ウェア分野においては、新商品を積極的に投入して商品ラインナップを拡充するとともに、新規顧客の開拓を積極的に行うなど、体制の整備を進めてまいりました。

生産面におきましては、子会社である株式会社ジェイアイディと連携し、新規協力工場の開拓による生産体制の見直しを行い、コスト抑制に取り組むとともに、各協力工場に定期的に技術指導員を派遣し、品質の維持・向上に努めてまいりました。また、子会社の株式会社玄海ソーイングを中心として、国内生産における短納期対応の体制を更に強化し、販売機会ロスの低減と、顧客サービスの向上を図ってまいりました。

以上のように業績の向上に向けた施策を実施してまいりました結果、ユニフォーム、特にフットウェアと医療用白衣・介護ウェアは順調に売上を伸ばしておりますが、メンズカジュアルにおいては、取り組んでまいりました事業構造の転換により収益力が向上したものの、消費低迷による販売先の前売れ不振により、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,098百万円（前年同四半期比2.0%減）と若干前年を下回る結果となりました。営業利益は、フットウェアと医療用白衣・介護ウェアの売上増に伴う粗利額の増加や、メンズカジュアルの収益性の改善などにより利益率が向上したことなどにより、1,432百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。経常利益は、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価益1,055百万円を営業外収益に計上したことなどにより2,591百万円（前年同四半期比185.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,895百万円（前年同四半期比266.7%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ293百万円増加し、33,728百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ656百万円減少し、23,489百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加した969百万円、繰延税金資産が増加した111百万円、受取手形及び売掛金が355百万円、商品及び製品が681百万円、原材料及び貯蔵品が477百万円、流動資産その他が223百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ949百万円増加し、10,239百万円となりました。これは主に投資有価証券が増加した649百万円、投資その他の資産その他が417百万円増加したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ793百万円減少し、3,277百万円となりました。これは主に未払法人税等が増加した828百万円、支払手形及び買掛金が1,560百万円、賞与引当金が127百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ532百万円減少し、1,552百万円となりました。これは主に繰延税金負債が増加した136百万円、固定負債その他が673百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,618百万円増加し、28,898百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加した452百万円、利益剰余金が増加した247百万円、自己株式（△表記）が1,411百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度より969百万円増加し、5,166百万円（前連結会計年度比23.1%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1,820百万円（前年同期は1,478百万円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,591百万円、売上債権の減少355百万円、たな卸資産の減少1,158百万円、法人税等の還付額178百万円等による増加と、賞与引当金の減少127百万円、デリバティブ評価益1,055百万円、仕入債務の減少1,560百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は122百万円（前年同期は49百万円の使用）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は733百万円（前年同期は760百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額726百万円等による減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期末以降の経済動向、為替動向並びにその業績に与える影響が依然として不透明ではありますが、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗並びに今後の見通しを踏まえ、平成28年8月9日の「平成28年6月期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,213,931	5,183,607
受取手形及び売掛金	5,093,646	4,737,918
商品及び製品	11,053,415	10,371,896
仕掛品	2,964	3,241
原材料及び貯蔵品	3,007,281	2,530,079
繰延税金資産	66,280	177,682
その他	716,841	493,236
貸倒引当金	△8,678	△8,059
流動資産合計	24,145,682	23,489,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,862,257	1,804,146
土地	4,077,713	4,077,713
その他（純額）	166,437	157,585
有形固定資産合計	6,106,408	6,039,445
無形固定資産	22,939	21,235
投資その他の資産		
投資有価証券	2,305,813	2,955,808
繰延税金資産	60,136	—
その他	871,735	1,289,306
貸倒引当金	△76,992	△66,431
投資その他の資産合計	3,160,693	4,178,684
固定資産合計	9,290,041	10,239,365
資産合計	33,435,723	33,728,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,560,129	1,999,688
未払金	110,092	142,242
未払法人税等	84	828,411
返品調整引当金	85,854	78,846
賞与引当金	148,923	21,464
その他	165,761	207,094
流動負債合計	4,070,845	3,277,747
固定負債		
退職給付に係る負債	594,105	599,277
繰延税金負債	—	136,033
その他	1,490,488	817,215
固定負債合計	2,084,594	1,552,526
負債合計	6,155,440	4,830,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,578	1,827,189
利益剰余金	24,772,678	24,524,944
自己株式	△2,935,343	△1,523,564
株主資本合計	26,647,413	27,811,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618,280	1,070,969
退職給付に係る調整累計額	14,589	16,657
その他の包括利益累計額合計	632,870	1,087,627
純資産合計	27,280,283	28,898,696
負債純資産合計	33,435,723	33,728,969

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年7月1日 至平成27年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年7月1日 至平成28年12月31日）
売上高	8,265,660	8,098,720
売上原価	5,496,587	5,234,211
売上総利益	2,769,073	2,864,509
販売費及び一般管理費	1,509,513	1,432,146
営業利益	1,259,560	1,432,362
営業外収益		
受取利息及び配当金	45,104	33,424
為替差益	42,877	10,010
受取賃貸料	31,832	33,090
デリバティブ評価益	—	1,055,270
その他	86,498	47,479
営業外収益合計	206,312	1,179,275
営業外費用		
賃貸収入原価	20,470	19,465
デリバティブ評価損	538,812	—
その他	16	313
営業外費用合計	559,299	19,779
経常利益	906,573	2,591,858
特別利益		
投資有価証券売却益	17,562	—
特別利益合計	17,562	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	924,135	2,591,858
法人税、住民税及び事業税	326,202	811,160
法人税等調整額	81,085	△114,399
法人税等合計	407,287	696,761
四半期純利益	516,847	1,895,097
親会社株主に帰属する四半期純利益	516,847	1,895,097

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純利益	516,847	1,895,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△192,688	452,688
退職給付に係る調整額	△7,743	2,068
その他の包括利益合計	△200,432	454,757
四半期包括利益	316,415	2,349,854
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,415	2,349,854

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	924,135	2,591,858
減価償却費	73,044	70,207
貸倒引当金の増減額（△は減少）	36,530	△11,179
賞与引当金の増減額（△は減少）	△129,501	△127,458
返品調整引当金の増減額（△は減少）	△1,909	△7,007
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	7,039	8,147
受取利息及び受取配当金	△45,104	△33,424
デリバティブ評価損益（△は益）	538,812	△1,055,270
売上債権の増減額（△は増加）	416,089	355,727
たな卸資産の増減額（△は増加）	△809,727	1,158,443
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,901,335	△1,560,441
その他	361,000	219,630
小計	△530,922	1,609,232
利息及び配当金の受取額	45,102	33,422
法人税等の支払額	△992,259	—
法人税等の還付額	—	178,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,478,079	1,820,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,480	△2,480
定期預金の払戻による収入	2,480	2,480
有形固定資産の取得による支出	△146	△1,541
投資有価証券の取得による支出	△23,560	△6,074
投資有価証券の売却による収入	97,559	17,444
その他	△123,036	△132,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,183	△122,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,389	△4,220
配当金の支払額	△755,328	△726,476
リース債務の返済による支出	△3,462	△3,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△760,180	△733,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,926	5,681
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,290,369	969,675
現金及び現金同等物の期首残高	5,878,936	4,197,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,588,566	5,166,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年8月30日開催の取締役会決議に基づき、平成28年9月12日付で、自己株式1,500,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が388千円、利益剰余金が1,415,611千円、自己株式が1,416,000千円それぞれ減少し、当第2四半期連結会計期間末において、資本剰余金1,827,189千円、利益剰余金24,524,944千円、自己株式1,523,564千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。